

所定疾患施設療養費の公表

【令和7年度】

疾患名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿路感染症	人数	2	4	3	1	0	2	2	2	4	1	1	2	24
	日数	13	23	16	2	0	10	6	11	23	4	3	10	121
肺炎	人数	6	3	1	7	3	3	4	2	2	2	2	6	41
	日数	34	18	3	35	11	23	24	11	13	16	15	33	236
带状疱疹	人数													0
	日数													0
蜂窩織炎	人数	1	1	2	0	3	2	3	1	2	2	0	1	18
	日数	7	1	14	0	21	14	18	3	12	18	0	10	118
慢性心不全の増悪	人数													0
	日数													0
合計	人数	9	8	6	8	6	7	9	5	8	5	3	9	83
	日数	54	42	33	37	32	47	48	25	48	38	18	53	475

疾患別の主な治療内容(投薬、検査、注射、処置等の内容)

尿路感染症	寝たきりになると尿路感染症を起こしやすくなるため、可及的にリハビリ等でADLの改善を図り、日常生活では、起床状態を長く保てるように務める。起炎菌の同定後に抗生剤を適切に使用する。
肺炎	起因菌の同定(喀痰培養)にて、感受性のある抗生剤を投与。特に誤嚥性肺炎の場合、口腔ケア等により、嚥下筋と脳神経の刺激を介して、その予防に務める。
带状疱疹	抗ウイルス剤の点滴、注射、消炎鎮痛剤を用いた適切な治療を行う。
蜂窩織炎	皮膚の真皮層からその深部にブドウ球菌又は、溶連菌等の主に球菌による炎症が広がるため、セフェム系(セファブリン)等の抗生剤で治療をする。足趾の創部には、抗生剤の軟膏も塗布する。
慢性心不全の増悪	注射または酸素投与等の処置を実施する。